

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）  
E-mail [sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp)



### ◆ 目次 ◆

- 活動報告
- 各校と箕面ユネスコ協会
- お知らせ

♪ホームページ折々に更新中！

「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## 平成29年度 箕面ユネスコ協会総会を開催しました！

今年度もよろしくお願ひいたします。

5月21日、箕面市立萱野小学校で、来賓として大阪府ユネスコ連絡協議会中馬会長、同若林事務局長、萱野小学校藤澤校長をお招きし、活動・会計報告および計画が承認されました。新たに迎えた会員の方々、および仲野公顧問の紹介がありました。中西正人顧問が日本ユネスコ国内委員会委員で、坂口会長が日本ユネスコ協会理事で引き続き活動致します。今年度もさまざまなネットワークづくりをめざす箕面ユネスコ協会をよろしくお願ひします。総会後は、恒例の被災地を忘れない東北・熊本などの食材を使った交流食事会を開催しました。



## 平成29年度 大阪府ユネスコ連絡協議会総会が開催されました！

総会後の講演ではカンボジアやネパールの識字教育を通し「誰もおきざりにしない社会の構築」を目指すことを共有しました。

5月28日、阿倍野生涯学習センターにおいて、大阪ユネスコ協会、エリーニユネスコ協会、堺ユネスコ協会、箕面ユネスコ協会が集まり、今年度の活動計画等を確認しました。その後「59歳の1年生～今、わたしたちができること！～」をテーマに坂口会長が講演し、カンボジアに先生方や高校生と訪れた経験を4コ協で共有しました。この日の学びを生かし、各コ協でできることを探っていきます。



59歳の1年生

## ポプラ「ふれあい食事会」池田さつき会

豊能地区を中心に特別養護老人ホームの運営、訪問介護、デイサービスなど福祉事業を展開されているさつき会の池田市東山町の特別老人ホームポプラで、8月6日（日）に開催され、103名の方が参加されました。



「ふれあい食事会」は、地域の75歳以上のかたを対象に2か月に1度500円で開催されます。明るい従業員の方々とピアノの生演奏で出迎えられ、大阪マリオットホテルの総料理長のお食事をいただきました。



食事前には、毎回健康について医師によるプチセミナーが企画されているようで、今回は経口補水液と糖尿病に関するお話。その後、音楽にあわせ手足を別々に動かし脳の活性化に努めた体操を行いました。なかなかついていけず、不安を覚えました。『脳を悩ましながらいふ事が活性化につながりますよ』と言われ一安心しました。とりわけ老化予防に取り組みされた内容が企画されていました。



地域の大阪音楽大学の学生さんの生演奏を聴きながらのお食事会。この夏1番の猛暑日にもかかわらず、地域の方々が楽しみに皆さん少しおしゃれをされて来られているようでした。

現在日本の介護現場は世界の先端を行っており、海外からも注目され、毎年こちらの施設の見学にこられる大学があるそうです。早くから、外国人の国家資格の取得を目標とした国家試験対策、日本語学習等の適切な研修を導入し、ベトナム・フィリピン・インドネシアから受け入れられてきたそうですが、現在は、ネパールからの受け入れを考えられているそうです。ネパールは、地域性から産業が育たなく観光産業のみに頼り、月平均約15000円で生活している現状で、子どもたちは英語を話せるが将来仕事がない状況だそうです。その中で日本での就職を希望する人に、介護の基礎知識や技術、日本語の指導はもちろん、外国人介護員を含むチームに対するフォローなど細やかに目を配ることや育てることを目指されています。これからは、ネパールのマンパワーの輸出が経済を支え、日本の看護・介護分野の労働力不足を補うといった経済活動の連携の強化が重要になるかもしれません。

(大阪ユネスコ協会事務局長 若林美和子)

## 箕面ユネスコ協会の活動経過報告 NO13 東日本大震災を忘れない!

### 今年で7年目9回「がんばろう!つばさネットワーク」東北へ



「がんばろう!つばさネットワーク」北摂つばさ高校を中心に松原高校、春日丘高校の生徒と7月14日から18日東北支援ボランティアに行ってきました。大阪からバスで北陸道を通り宮城県気仙沼まで14時間、南三陸町防災庁舎、陸前高田市などを視察。気仙沼階上地区で「海辺に森を作ろう会」草刈り植樹ボランティア、大島では牡蠣の養殖業を再開した小松さんのところでボランティアを行いました。宿泊は気仙沼八瀬地区の「森の学校」の皆さんの家で民泊。2日間お世話になりました。来年も10回目が開催予定です。

# ○アサンプション国際小学校がユネスコスクールに認定○

## 「～聖母被昇天小学校がアサンプション国際小学校へと変わりました～」

7月10日、アサンプション国際小学校に伺い、ユネスコスクール認定プレートを贈呈しました。ユネスコスクールはユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するために平和や国際的な連携を実践する学校のことで、日本でも939校の学校が加盟しています。文部科学省および日本ユネスコ国内委員会は、ユネスコスクールをESDの推進拠点校として支援しています。学校のモットーは、「誠実 隣人愛 喜び」、ユネスコ憲章の「心の中に平和の砦を」に深く通じています。箕面ユネスコ協会も、アサンプション国際小学校の子どもたちの新たな学びを楽しみにしています。

(坂口 一美)



## 近畿ESDコンソーシアム総会に参加しました



7月8日(土)に、奈良教育大学(日本で最初にユネスコスクールに認められた大学)において総会が行われました。「コンソーシアム(Consortium)＝共通の目的に向かう共同体」という意の通り、近畿各地の教育委員会をはじめ、ESDを進める各校や各ユネスコ協会、地域で活躍する団体が集まり、交流と学びを深めました。東大寺教学執事の方から「世界遺産のお寺で、気づく、学ぶ、考える 東大寺寺子屋」の案内があるなど、様々な形でESD

が推し進められている様子を知ることができました。

東京都江東区立八名川小学校からは、学校総体でSDGs(2016年から2030年の間に世界がめざすものとして国連が採択した17の目標)に取り組む様子が紹介されました。「誰一人取り残さない世界の実現」に寄与する人材を育成したいという願いが強く伝わってきました。子どもたち自身が課題を見出し生き生きと学ぶことが他の教科への意欲にもつながっていく姿に、点数で学力を計ることに汲々とするのではなく、目的が明確になる学び方こそが学力を確かにするのだと気づくことができました。

(大濱 淳子)

## ●熊本とつながる！緩やかなネットワーク6



6月9日～12日、箕面「らいとぴあ」中村君率いる高校生や中学生・小学生の「熊本震災支援を学ぶ現地フィールドワーク第2弾」に同行、おなじみ西原村たんぼぼハウス（上村加代子さん・久保田さん）たんぼぼハウス絆食堂や子ども食堂の手伝い、仮設住宅での「だご汁」作りや、被災で出た持ち主の不明の保管物の整理などすることができました。皆さんありがとうございました。



◎感謝状贈呈しましたー☆☆☆、応援への御礼。



「市民活動フォーラムみのお」より東日本大震災の寄付金の取り扱いを委任されました。東日本大震災を「忘れない」ための青少年の活動支援金としていきます。

箕面ユネスコ協会は「フォーラムみのお」会員でもあります。「フォーラムみのお」は、市民活動センターを箕面市のNPOの拠点として運営しつつ、一人ひとりの思いをつなぎながら「人もまちも元気な社会」を実現するための活動を応援していただいています。

★★★日本ユネスコ全国大会 in 仙台が盛会に終わりました★★★

### 箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンズ遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>  
書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！



7月15日・16日ユネスコ発生の地仙台で第73回ユネスコ全国大会が開催されました。参加者は約800名。次を担う青年たちの活躍が目を見張る大会でした。エクスカッションは松島、世界遺産平泉、気仙泊、次回は北街道函館で開催します。